

## 【ぶらぶらトンボ】トンボやいろんな生きものたちがくらせる場所にするために ～トンボ池調査報告会を開催～

トンボ池調査報告会が、2月27日(水)にJFEエンジニアリングのシーフォーレ研修室で開催されました。

ビオトープ管理士の早川さん(あおぞら自然共育舎)からの調査報告を聞いた後、JFEエンジニアリングの施設管理の方々(4名)、トンボみちファンクラブ(6名)が参加して話し合いを行ない、その結果、今後つぎのように進めることになりました。



調査で捕獲した生きもの(2月7日)

### (1) 池の西側の浅すぎる部分について

サンカクイ、コウホネを一時的に堀り上げて、水深20cmになるように泥上げを行います。

### (2) 池の中のU字溝について

溜まっている泥に若干の臭気(ドブ臭さ)があるので、U字溝の内部の泥上げを行います。

### (3) アメリカザリガニについて

1cm程度のザリガニの子どもをカゴワナで捕獲することは難しいが、親を駆除することで確実に繁殖は減らせるので、会社、ファンクラブともにカゴワナでの駆除を継続します。駆除のためにカゴワナを設置していることを表示して、来訪者によるイタズラを出来るだけ防止します。

### (4) スッポンについて

捕獲用のモンドリ網を会社にて購入し捕獲を試みることにします。捕獲後の処置については、早川さんが関係各所に問い合わせしてみたが、回答がマクマクなので検討継続とします。会社としては、危険生物につき、まず捕獲する事を考えています。

### (5) スイレンについて

前回のカイボリ時(2014年)には、繁茂しすぎて刈取りを行ったアサザが、昨年急に無くなった原因の1つとして、2016年に池に入れた園芸スイレンの影響が考えられます。アサザを復活させるために、この園芸スイレンを取り除くことにします。

少量のスイレンを容器に入れてから沈めて逸脱しないようにして、鑑賞できるようにする方法もあるので検討継続とします。

### (6) カイボリについて

前述の(1)、(2)、(5)を行なうために、7月～9月に水抜きを行なう必要があります。近隣の小学校から環境学習したいとの要望があるので、その内容、時期などについて、会社にて学校と相談していただきます。カイボリへの一般公募も会社として検討していただきます。(銀)

## [SDGs その2] 世界の未来を変えるための活動事例

2月号ではSDGsとは何かについてお伝えしました。今回は、SDGsを達成するための活動事例として神奈川県公園協会の活動の一端をご紹介します。

同協会のホームページによれば、都市公園及び自然公園施設の管理運営事業におけるSDGsの取組みとして、つぎの目標を掲げています。

1. すべての人が安全・安心にすごせる公園管理
2. 防災拠点としての公園管理
3. 生物多様性の保全
4. 県民の健康増進のための取組み
5. 地球環境に配慮した公園管理の実践
6. 学びの場としての公園
7. 地域との協働による公園管理



2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

これらの目標のいくつかは、私たちのトンボみち憲章と共通点がありますね。世界の未来を変えるために、私たちもすでに行動しているのです。(銀)

### (シリーズ) トンボみちの仲間たち

2月23日(土)のファンクラブ活動の様子です。(撮影:山田さん)



**活動予定** ※雨天は1週間延期  
 今月：3月23日(土) 9時～11時  
 来月：4月27日(土) 9時～11時  
 事前の申込みは不要です。誰でも参加可能！  
 公式ホームページをご覧ください

トンボみちファンクラブ

検索

JFEトンボみち ファンクラブ通信 2019年3月号  
 発行日：2019年3月20日  
 発行者：トンボみちファンクラブ  
 連絡先：ファンクラブ代表 柴田 090-4627-8821  
 ◆ファンクラブ通信への自由投稿をお待ちしています

※「JFEトンボみち」はJFEエンジニアリング(株)が地域の皆様に開放している公開緑地です



京浜の森ロゴマーク